

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-41101

(43)公開日 平成5年(1993)6月1日

(51)Int.Cl.⁵

H01C 1/01
10/00

識別記号

序内整理番号

R 7161-5E
N

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号 実願平3-91624

(22)出願日 平成3年(1991)11月8日

(71)出願人 000006013

三菱電機株式会社
東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72)考案者 石本 義貞

三田市三輪二丁目3番33号 三菱電機エ
ンジニアリング株式会社姫路事業所三田支所
内

(74)代理人 弁理士 高田 守 (外1名)

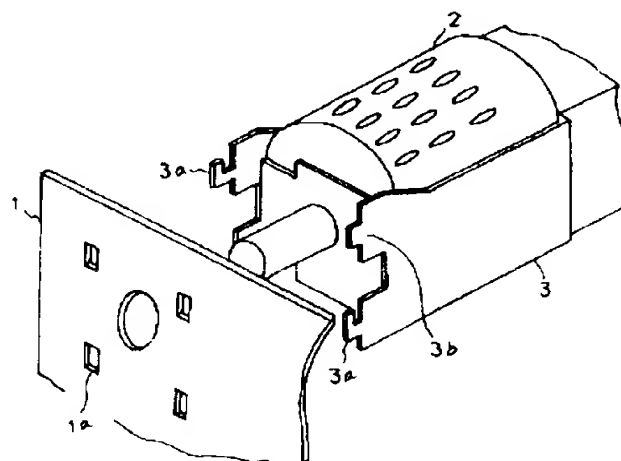
(54)【考案の名称】 可変抵抗器固定装置

(57)【要約】

【目的】 可変抵抗器固定装置に於いて、部品点数を少なくし組立作業効率を図る。

【構成】 固定板より、曲げ構造の切欠きと位置決め出来る切欠きを設け、シャーシ側の穴に切欠き部を挿入し曲げ構造の切欠きを曲げる事によって可変抵抗器を固定することを特徴とする。

【効果】 従来の様なリット等を必要とする事なく、可変抵抗器を固定する事が可能となる。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 可変抵抗器に於いて、抵抗板より切欠きを設け、シャーシ等に設けた穴に挿入し、切欠き部を曲げることによって、可変抵抗器を固定することを特徴とする可変抵抗器固定装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案の一実施例による可変抵抗器固定装置を示す斜視図である。

【図2】 この考案の他の実施例を示す可変抵抗器固定装置の斜視図である。

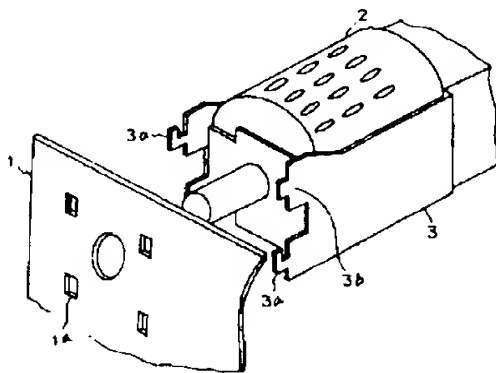
【図3】 従来の可変抵抗器固定装置を示す斜視図である。

2

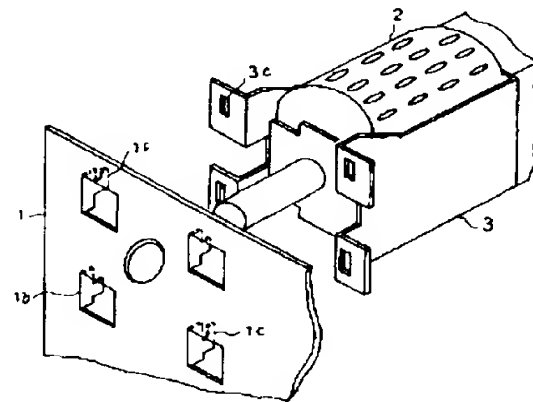
【符号の説明】

- 1 シャーシ
- 1a 穴
- 1b 位置決め出来る切欠き
- 1c 曲げ構造の切欠き
- 2 可変抵抗器
- 3 固定板
- 3a 曲げ構造の切欠き
- 3b 位置決め出来る切欠き
- 3c 穴
- 4 ナット

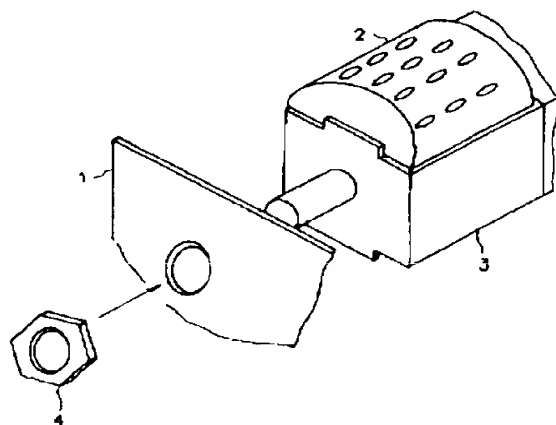
【図1】



【図2】



【図3】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、車載用ラジオ受信器等の可変抵抗器に関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

図3は可変抵抗器が固定される状態の斜視図である。

図に於いて、1はシャーシ、2は可変抵抗器、3は可変抵抗器を保持する固定板、4は可変抵抗器をシャーシに取付けるナットである。

【0003】

次に従来の可変抵抗器について説明する。

可変抵抗器2は、固定板3と一対になっており、シャーシ1等に固定される時にナット4によって取付けられている。

【0004】**【考案が解決しようとする課題】**

従来の可変抵抗器の固定方法は、ナットで締め付けて固定している為、組立作業の効率が悪く、ナット等が必要な為、部品点数が多くなるなどの問題があった。

【0005】

本考案は上記のような問題点を解消する為になされたもので、組立作業性の効率を図り、部品点数を少なくすることを目的とする。

【0006】**【課題を解決するための手段】**

この考案に係る可変抵抗器は、組立作業効率を上げる為に、固定板に切欠きを設けると共にシャーシに穴を設けたものである。

【0007】**【作用】**

この考案における可変抵抗器は、固定板に切欠きを設けることにより、組立作業効率を図り、部品点数を少なくする。

【0008】**【実施例】****実施例1.**

図1は、本考案の実施例を示す斜視図である。

図に於いて、1、2、3は上記従来装置と全く同一のもので、1aはシャーシ1に設けた穴、3aは可変抵抗器2を固定するため曲げれる構造になった切欠き、3bは可変抵抗器2をシャーシ1に位置決め出来る様に設けた切欠きである。

【0009】

上記の様に構成された可変抵抗器に於いて、固定板3より曲げ構造になっている切欠き3aと、シャーシ1と位置決め出来る様になっている切欠き3bを設けて、シャーシ1に設けた穴1aに挿入し、曲げ構造になっている切欠き3aを曲げる事によって可変抵抗器を決められた位置に固定出来るので、組立作業効率が上がり部品点数の削減が可能となった。

【0010】**実施例2.**

なお、上記実施例では、可変抵抗器2の固定板3よりシャーシ1に固定出来る様曲げ構造の切欠き3aと位置出来る切欠き3bを設けシャーシ1穴1aに挿入し取付られる可変抵抗器固定装置で示したが、第2図の様にシャーシ1側より固定出来る様曲げ構造の切欠き1cと位置決め出来る切欠き1bを設け可変抵抗器2側に穴3cを設けたものでもよい。

【0011】**【考案の効果】**

本考案は、以上説明した様に構成されているので組立作業効率を図ると共に部品点数削減をできる効果がある。